

保護者質問に対する対策

令和6年度保護者アンケートにあるご質問①

教育活動や学校運営についてはありませんが、先生によっては時として(学生を)尊重していない時もある様な...

まとめ時における学校側の回答

申し訳ございません。各教員には個性や考え方には多様なところがあり、それはそれで良いことかと思っておりますが、もし学生を尊重していないと感じることがございましたら、すぐに学科長、本部長、校長にご連絡下さい。学生対応では、等しくどなたにも丁寧に対応していきたいと考えております。

その後の学校の取組について

「一部の教員の言動が、学生を十分に尊重していないように感じられる時がある」というご意見を昨年度頂きましたことに対して、まずはご不安な思いを抱かせてしまい、大変申し訳ないと感じております。教員一人ひとりには、それぞれの個性や指導方針があり、多様な視点を持って教育にあたっております。しかしながら、どのような場合であっても、学生を尊重し、丁寧に接することは全教職員に共通する大切な姿勢であると考えております。もし今後も「学生が尊重されていない」と感じるような場面がございましたら、どうぞ遠慮なく学科長、副校長、あるいは、校長にご連絡くださいませ。

今年度から本校では、「学生の人権が十分に尊重されていないと感じるという意見が学生から寄せられた場合、速やかに学内教職員間で情報を共有し、必要な改善策を協議・実施する」ように対応致しております。このような対応は教育現場の振り返りを促す「抑止力」としても大きな役割を果たすものと期待しております。今後も、学生が安心して学べる環境づくりに努めてまいりますので、引き続きご意見やお気づきの点がございましたら、お知らせいただければ幸甚に存じます。

令和6年度保護者アンケートにあるご質問②

なるべくお金がかからない学校になってほしいです。周りからも言われますが、お金を考えると簡単には通わせられないと...。私自身も働いても働いてもいろんな場面に金銭的に大変厳しく、周りにはそんなに働いたら倒れるよと言われますが、それくらい働いても金銭的に追いつきません。何とか卒業し、国家資格を取ってほしく働いてる毎日です。また、学生からの駐車場代金の徴収を考えてほしいです。テストの点数がみたなかったら、お金を徴収するのも勉強していない子が悪いのもわかりますが、お金の徴収は考えてほしいです。実習にかかわる宿泊費、旅費は必要経費だと思っています。

まとめ時における学校側の回答

昨今の物価高に加え、諸経費高騰はご家庭だけでなく、学校経営にも負担増となっております。他校では学費値上げも進んでいる状況です。本校では、教育に関する経費に無駄のないような対応をいたしておりますが、どうしても経費の中には受益者負担をお願いしている こともございます。駐車料金や再試料金に関しても、毎年、議論するところがございます。ただ、今後も冗費が出ないように、また、皆さまの予定外のご負担が出ないように対応させていただくと共に、どうしても想定外とお感じになる費用に関してはかなり前もってご連絡させて頂きたいと考えております。

保護者質問に対する対策

その後の学校の取組について

本コメントはお二人の保護者からのご意見ですが、この一年間費用に関する現状を慎重に見極めようと対応してまいりました。しかし、そうこうしている間にも、この一年も急激な物価上昇が続き、速やかに具体的な対応を実施することが難しい状況が重なってきました。そのため、この一年間、校内の経費を細かく精査し冗費を洗い出す作業を継続しております。それら結果をもとに、今後、どのように費用を考えて行くべきかを検討いたしたいと考えております。速やかな対応ができず申し訳ありませんが、何卒、現状をご理解して頂きたく、お願い申し上げます。

令和6年度保護者アンケートにあるご質問③

もう少し、学生と向き合ってほしい。国家試験対策について、グループで学習し、競わせてるようだが、それに対する新たなストレスも生じている。遅い時間までグループで居残りさせるのに効果はあるのか？罰ゲームにしか思えない。個人学習の時間も確保してほしい。それと、教員模試について、教員が作成したのならば、解答率の低いところや、わからないところはしっかり解説をして頂きたい。丸投げにしか感じません。国家試験の合格率を上げたいのならば、今までと同じやり方では難しいと思います。もう少し、分析をして学生に向き合って頂きたいです。

まとめ時における学校側の回答

国試対策の学習方法や居残り学習の意味について、学生にしっかり理解されていないことがわかりました。学生や保護者への配慮が不足していることをお詫び申し上げます。国家試験勉強の最重要課題は、1) 集中した学習時間の確保(1日8時間を目安)、2) 主体的な学習姿勢、3) 自身の特徴と実力を見誤らないことと考えています。「教員室での居残り学習」は、1)を補完するものです。学内だけで目標勉強時間を達成させ、学外学習は不要となります。また結果が出せていない学生の勉強方法や考え方などを教員が把握しやすいことも理由です。罰ゲームではありません。「模試の解説、補講」は、2)に関連するものです。補講・解説は一見効果的と考えられますが過去の実績として、学習姿勢において依存性や受動性を強めてしまい長期的に見ると逆効果であることが分かっています。(学生自らの質問や補講依頼があれば補講・解説を適宜実施しています)。分析して学生に向き合うこと」は、その通りだと思います。上記1)、2)でも効果がみられない学生には、学生固有の問題を抱えていることが原因です。よって、3)に配慮しながら個別的な関りや見守りを強化しなければいけないと考えます。

その後の学校の取組について

厳しいご意見を真摯に受け止め、本校では国試対策の見直しと改善を進めております。国試対策は、今回のメールマガジンでもご紹介した通りですが、学生への説明方法の改善、個別支援体制の強化、学習方法の再指導など、毎年創意工夫を積み重ねながら実施いたしております。昨年度ご指摘に基づきいくつかの改善を加えたところ、作業療法学科では国家試験合格率100%を達成しましたので、昨年度の対策効果が確認されました。しかも、既卒受験者(国試浪人者)の合格率も75%と全国平均を大きく上回る結果となりました。これらの結果、本校としては3学科の平均合格率が上昇しました。これは、学生一人ひとりの努力と、保護者の皆様のご理解・ご協力のおかげであり、改めて深く感謝申し上げます。ただ、

保護者質問に対する対策

ノウハウだけでなく、毎年少しずつ変わる学生さんの状況を考慮しながら、今後もまずは学生の不安や負担に寄り添いながら、より効果的で満足度の高い国家試験対策を実施してまいりたいと考えております。

令和6年度保護者アンケートにあるご質問④

理学、作業療法士という資格（職業）を知らない人が多いと思います。高校生（中学生）に宣伝して入学生が増えたらいいなと思います。

まとめ時における学校側の回答

ご指摘の通りと思います。特に中学生や高校生への知名度を高めることが必要と考え、現在、体験授業や出前講座を積極的に実施しています。しかし、なかなか効果は表れておりません。

その後の学校の取組について

ご指摘のとおり、理学療法士・作業療法士という専門職は、中学生・高校生をはじめ、その保護者の皆さまにも十分に知られていないのが現状です。本校ではこの課題を重く受け止め、これまでの体験授業や出前講座に加えて効果的な広報活動に取り組んでおります。具体的には、中学校・高校との連携をさらに強化し、授業内容に合わせた「出前授業」の企画を増やすほか、若い世代にも親しみやすい動画やSNSを活用した情報発信を継続しております。また、医療現場で活躍する卒業生の紹介や職業の魅力が直感的に理解できる体験型イベントも実施しております。これらの取り組みにより、少しでも多くの生徒・保護者の皆さまに医療職の面白さや将来性を知っていただけるよう、積極的な広報活動を進めております。

令和6年度保護者アンケートにあるご質問⑤

食堂がほしいです！

まとめ時における学校側の回答

同感ですが、学生数や利用頻度を勘案すると難しいです。現行の無人販売の拡大が妥当と考えます。申し訳ございません。

その後の学校の取組について

学生食堂や販売機による昼食提供、あるいは、業者による訪問販売とか季節限定のトラック販売などについても調べて来たのですが、現在のところ一歩進んだ対策ができていません。ただ、旭川医大からは「本校学生の医大学生食堂の利用を歓迎いたします」と正式な回答をいただいておりますし、学内の販売機による昼食メニューは業者に増やして頂きました。まだまだ十分とは言えないかもしれませんが、今後も改善策を練っていきたいと考えています。

保護者質問に対する対策

令和6年度保護者アンケートにあるご質問⑥

国試に向けての学習もすすめていただいていると聞きました。取り組む姿勢に個人差はあるのかもしれませんが、真剣に取り組んでいる生徒もいますので継続してお願い致します。一方、他校に比べて課題や学習時間が少なすぎる、かなり甘さがあると思います。また、教員の指導や態度に差があるように思います。看護学だけではなく、現在の若年層の状況を理解した関わりを求めます。別の保護者からは、「とても充実した学校生活を送っているように感じます。先生方や事務の職員さん、全ての方に感謝の気持ちでいっぱいです。」というご意見も頂いております。

まとめ時における学校側の回答

好意的なコメントやご意見、ありがとうございます。皆様のご期待に応えられるように、しっかりと対応させていただきます。振り落とすのではなく、育てる教育を目指します。よろしく申し上げます。ちなみに令和7年度国試では本校は全国平均を上回る高い合格率になると受験生の自己採点から判断されました。確実に成果は出ておりますので、今後ともよろしくご理解とご協力をお願いいたします。

その後の学校の取組について

この度は、貴重なご意見や温かいお言葉をお寄せいただき、誠にありがとうございます。皆さまのご指摘やご期待を真摯に受け止め、今後の教育活動に活かしてまいります。国試対策につきましては、多くの学生が真剣に取り組んでおり、学校としてもこれまで以上に学習支援体制を強化しております。課題や学習時間の在り方についても改善を進め、より主体的に学べる環境づくりを図っております。また、年々変化している学生の特性も理解した上で、学生に寄り添った指導が行えるよう、教職員全体で共通理解を深めた上での適切な指導に努めております。個々の取り組みの積み重ねが多少なりとも教育効果に繋がったのか、「令和6年度の国家試験では前年度と比べ合格率が大きく改善した」ことは前述に記載頂いた通りです。学生たちの努力に確かな成果につながることを意識しながら、今後も「育てる教育」を理念として学生の教育支援を継続してまいります。皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げますとともに、引き続き、どうかよろしくお願い申し上げます。

令和6年度保護者アンケートにあるご質問⑦

夏休み中、国試勉強会で生徒は頑張っているにもかかわらず、このままだと誰々は落ちると生徒の前では公表し、黒板に名前を書くなど、イジメともとれる行動言動があったと子供より聞いた。それに乗っかり学生がクラスの写真を見せ、この子は受かる？落ちる？と先生に聞き、それを答えるということがあったそうで、すごく不快な思いをしたそうです。仮に先生同士の間でそういう話があるかは訳がちな気がします。実習中の国試勉強の強要もあったそうで、生徒を通じて連絡ではあったが、参加しないとだめだと。ZOOM代で100円を2回徴収されたことの事。頼んでもいないのにそういう事をしてお金を徴収していた事を学校は把握していたのか？結局、途中で中止となったみたいですが...当たり前です。さらに、「XX先生には力がない」と言っている生徒もいるようだが、その先生が合格させるわけではない。頑張るのは自分です。色んなサポートがあつての学校や先生ではないでしょうか。他の看護学校の話を知ると、北都に入学したことをとても後悔しています。残念です。

保護者質問に対する対策

まとめ時における学校側の回答

ご不快な思いを学生さんや保護者の皆様にさせてしまったことは大いに反省しております。そのような状況を早くから頂きましたので、今年度の国試対策は昨年度と大きく変更した対応を、学年担任を中心に進めてまいりました。そして、最後まで頑張ってもらえるような対策を講じてきました。これまでの対応の不十分さをご容赦頂きたく存じます。しかしながら、おかげさまで国家試験の結果はとても満足できるものになりましたので、少し安堵しているところです。

その後の学校の取組について

様々な不適切な言動で、ご不快な思いを学生さんや保護者の皆様にさせてしまったことは、本校として大いに反省しております。これらのご指摘を頂いた昨年度の状況を受け、今年度は、学年担任を中心として国試対策の内容や進め方をさらに見直しました。具体的には、1) 個々の学生への声かけや指導方法を見直し、否定的な言動が生じないよう教員間で共有したこと、2) 面談や学習相談の回数を増やし学生が不安を抱え込まないようフォロー体制を強化したこと、3) 外部講師による講義の質を高めるため「学生による授業評価」を実施し始めたこと、4) グループ学習に対する教員介入を適切に行い、学習効果の向上を図る、など教育支援体制を教員全体で共有し、「学生が最後まで頑張ろう」と思える環境づくりに努めております。今後も皆様からのご意見をもとにより良い学習環境づくりに努めてまいります。

令和6年度保護者アンケートにあるご質問⑧

国試に向けての学習もすすめて頂いていると聞きました。取り組む姿勢に個人差はあるのかもしれませんが、真剣に取り組んでいる生徒もいますので継続してお願い致します。他校に比べて課題や学習時間が少なすぎる、かなり甘さがあると思います。また、教員の指導や態度に差があるように思います。看護学だけではなく、現在の若年層の状況を理解した関わりを求めます。とても充実した学校生活を送っているように感じます。先生方や事務の職員さん、全ての方に感謝の気持ちでいっぱいです。

まとめ時における学校側の回答

好意的なコメントやご意見、ありがとうございます。皆様のご期待に応えられるように、しっかりと対応させていただきます。振り落とすのではなく、育てる教育を目指します。よろしく申し上げます。ちなみに令和7年度国家試験では本校は全国平均を上回る高い合格率になると受験生の自己採点から判断されました。確実に成果は出ておりますので、今後ともよろしくご理解とご協力をお願いいたします。

その後の学校の取組について

保護者の皆様からは、国試に向けた学習に日々取り組んでいるとのお声を頂戴しますと、私たち教員も嬉しく感じます。勿論、取り組みの姿勢に個人差はあるかもしれませんが、真剣に努力している学生も多くおりますので、引き続き支援を進めてまいります。「他校に比べて課題量や学習時間が少なく、全体的に甘さがあるように感じる」「教員によって指導の姿勢に差がある」といったご意見もいただきました。現代の若年層の状況を踏まえ一人一人の学生にあった形の受験勉強のサポートを教員一丸となって進めております。さらに、国家試験受験生のみならず、低学年の学習支援もこれまで以上に力を注いでおりま

保護者質問に対する対策

す。また、「学校生活がとても充実しており、先生方や事務職員の皆様に感謝している」との温かいお言葉も頂き、これも、大変励みになっております。今後も、一人一人の学生を“育てる教育”を大切にしながら、皆様のご期待に応えられるよう取り組んでまいります。

令和6年度保護者アンケートにあるご質問⑨

実習評価の際、担当教員が評価した内容を変え別の教員が評価したとの話を娘の友人から聞いています。何の為の担当なのか疑問です。教職員間での「報連相」がなっていない。生徒たちに注意するが、不信感がついついある。授業の組み立てが下手すぎる。教員がいない技術練習、単位のとれない授業を間に入れ、時間数が増えたり etc. スクールバス（駅から）乗り継いで行っている生徒もいるので検討を。

まとめ時における学校側の回答

様々なご指摘をして頂き、感謝いたします。そのようなことはあってはならないことであると感じます。まずは、教職員間での「報連相」が不十分なため連携が取れていないとのご指摘をしっかりと受け止め、適切に対応していこうと学科内で話しているところです。

その後の学校の取組について

このたびは貴重なご指摘をいただき、誠にありがとうございます。実習評価において担当教員以外が評価内容を変更したというご懸念が生じたことは、教育機関として決してあってはならないことと受け止めております。現在、評価手順の再確認と、教職員間の情報共有の徹底について、学科内で具体的な改善策を協議しております。特に、実習評価フローの明確化、担当教員以外が介入しないルール of 再徹底、報連相の不足が起きないための定例ミーティング・記録の強化など、再発防止に向けて取り組んでおります。また、授業構成や技術練習の体制、通学面のご負担など、その他いただいたご意見についても真摯に受け止め、改善の余地がないか検討を進めております。今後も頂いたご意見を基に教育の質向上につなげてまいりますので、引き続きご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

令和6年度保護者アンケートにあるご質問⑩

実習へ行く際の服装や持ち物の連絡を早めにお知らせしていただきたいです。ざっくりと聞いてはいたのですが、チノパンに色指定がある場合や、バッグやメモ帳の形など、細かな指定がある場合は探して購入しなければいけないので、もっと早くにお知らせして欲しかったです。

まとめ時における学校側の回答

大変失礼いたしております。事前に学生さんにはお伝えしているのですが、うまく伝わらない対応であったことは反省しております。今後そのようなことがなくなるように、予めしっかりお伝えするだけでなく、繰り返しご連絡を差し上げたいと考えております。

保護者質問に対する対策

その後の学校の取組について

この度は、実習に向けた服装や持ち物のご連絡が十分に早くお伝えできず、保護者の皆さまにもご負担とご心配をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。学生の皆さんには事前に説明を行っていましたが、伝達方法や時期が適切ではなく、結果として必要な情報が十分に届かなかったことを真摯に受け止めております。今後はより早い段階での詳細な情報提供の説明を行うとともに、保護者の皆さまへのご案内（再通知）を徹底し、学生・保護者の双方が安心して実習準備を進められる体制を整えてまいります。これらにより円滑な実習参加のための環境づくりに努めてまいりますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。